

会議録様式

審 議 会 名	平成29年度第2回杉戸町総合振興審議会 平成29年度第2回杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議
開 催 日 時	平成29年6月29日(木) 午後1時30分～午後3時50分
開 催 場 所	杉戸町役場第本庁舎3階第1会議室
会 議 の 議 題	(1) 第5次杉戸町総合振興計画第6次実施計画の評価方法について (2) 第5次杉戸町総合振興計画第6次実施計画の事務事業評価(外部評価)について (3) 杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法について (4) 杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業評価(外部評価)について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 (公開の場合傍聴者数 1人) (非公開の場合理由)
出席委員氏名	高橋明、大橋登喜夫、橋本正通、新井武、小島キヨ子、岡田秀夫、伊藤庸一、金久保繁、坂本吉江、菊地信一、大島隆、印藤浩行、寺田竹雄
審 議 の 概 要	<p><u>杉戸町総合振興審議会</u></p> <p>下記事業について、事務事業評価(外部評価)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設等総合管理計画策定事業</li> <li>・ 民間認可保育所整備事業</li> <li>・ 障がい者就労支援センター運営事業</li> </ul> <p><u>杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議</u></p> <p>下記事業について、事務事業評価(外部評価)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 杉戸宿開宿400年祭イベントの開催ほか、杉戸宿を活用した賑わいづくりの促進</li> <li>・ アグリパークゆめすぎと観光・交流拠点機能強化事業</li> </ul> <p>詳細は別紙のとおり。</p>

## 【主な意見・質疑等】

### 平成29年度第2回杉戸町総合振興審議会

(1) 第5次杉戸町総合振興計画第6次実施計画の評価方法について

意見なし

(2) 第5次杉戸町総合振興計画第6次実施計画の事務事業評価（外部評価）について

#### ① 公共施設等総合管理計画策定事業 質疑応答

##### 質問1

(委員)

3点質問させていただきます。

1点目は、総合評価の中で、所管課では、「今後は施設管理担当課を中心に施設類型又は施設ごとの具体的な行動計画となる個別施設計画を策定していく」となっていますが、町長評価では、「人口の推移や施設の利用状況等を踏まえ、全庁的な体制で検討を行う」となっており、やや矛盾が感じられます。これについての補足説明をお願いします。おそらく全庁的な計画の中で、個々の施設の個別計画を策定することになるかと思えます。

2点目は、将来的に町内の学校施設（小学校・中学校）の集約化・複合化とありますが、それはどういう意味なのか教えてください。

3点目は、役場庁舎の改築をして、長寿命化を図るとありましたが、職員の方はよほど我慢強いのでしょうか。町の様々なことを所管する役場にも関わらず、このような使い勝手の悪い、迷子になってしまうような庁舎を長寿命化する意味はあるのか疑問に思えます。基本的な考え方を変えて、仮設的でも新しい庁舎を建てるなど、新たな方向性について模索したほうがよいのではないのでしょうか。

以上3点です。

(政策財政課)

まず、1点目の質問についてお答えします。

所管課評価と町長評価に矛盾があるのではというご指摘についてですが、

町長評価を作成するにあたり町長と事務局の間でヒアリングをし、町長の考えを確認致しました。個別計画を作成するのは担当課となりますが、今後の計画の全体像を踏まえた上で、集約化や複合化も検討していく必要があり、各課をまとめる横

断的・全庁的な検討機関がないと、その調整が難しいということで、「全庁的な体制で検討を行う」と記載致しました。

(委員)

まったくそのとおりだと思いますが、そうすると所管課である財産管理課のコメントにそのようなコメントを入れないといけないのではないのでしょうか。個別の施設の担当課がそれぞれに改築をしたらすぐに財政破綻してしまいますので、所管課が調整をし、計画を策定していかないといけないのではないかと思います。

よって、所管課の総合評価は若干修正をすべきではないでしょうか。

(政策財政課)

委員のご質問につきましては、担当課と調整させていただきます。

(財産管理課)

2点目の質問についてお答えします。

今後、小中一貫校等も想定されると思いますが、まずは、生徒・児童数の見込みや学校の施設規模に基づき、集約化・複合化が可能か検討させていただきます。

今のところ、小中一貫校等は想定していませんが、生徒・児童数の状況を踏まえ、今後検討していくこともあると思います。

次に、3点目の質問についてお答えします。

庁舎の改築についてでございますが、一番古い本庁舎は築年数53年経ちます。そうした中で、本庁舎の建て替えは当然視野にいれていかなければなりません。長寿命化を検討しつつ、将来的な改築計画との整合性を図り時期を見極めながら、検討していきたいと考えております。以上でございます。

## 質問2

(委員)

1点目に、今後不足することが見込まれる費用をできるだけ少なくするのが本指針の目的かと思いますが、「施設費等関連費用に使用可能な金額（※杉戸町公共施設等総合管理計画概要版4ページ目より）」をどのくらい減らすことを考えているのかについて教えてください。

2点目に、30年後には、施設費等関連費用に使用可能な費用は「インフラ更新費用」と「維持管理補修費」のみとなりますが、40年後にはインフラ更新費用に満たなくなる（施設管理に係る経費を支払えなくなる）ことになるかと思いますが。これらを踏まえ、30年後以降の計画において、「施設費等関連費用に使用可能な金額」を増やすのか、若しくは「インフラ更新費用・維持補修費」を減らすのか、そういったことも含めて具体化を検討していかなければならないと思います。その点についてどのようにお考えでしょうか。

(財産管理課)

更新費用等をどのように減らしていくのかについて、本計画には具体的に記載されておられません。原則として、可能な限り公共施設の総量を縮減していき、将来の財政に負担がかからないような形をとっていくことになると思います。

また、費用の関係でございますが、現在の段階では具体的にどのようにしていくかお示しできないところではございますが、可能な限り使える施設は長寿命化を図り、同時に施設規模の縮小を図る方針をとって、今後の公共施設のマネジメントをしていくこととなります。

従いまして、具体的な方法等は現段階ではお話するのは難しいところです。以上です。

(政策財政課)

財政を担当している私から補足させていただきます。

現在、杉戸町の普通建設事業費、いわゆる投資的経費に使えるお金は10億円前後でございます。そういった限りある予算の中で、実際に老朽化対策をするにあたっては、計画上からすると明らかに財政破綻を起こすこととなりますが、まずはそのような危機があり警鐘を鳴らす必要があるということをご理解いただければと存じます。

実際の改修にあたってはこのとおりにはいかないと思いますが、理論的に計算した場合、資料のとおり財源の不足が発生するだろうということをごイメージしていただければと思います。

この指針に記載されている現実を踏まえたうえで、個別の施設等管理計画について検討していくというものでございます。以上です。

### 質問3

(委員)

学校教育施設について、具体的には杉戸小学校・中学校しかお話がありませんが、他の学校施設はどのようになるのでしょうか。

また、生涯学習センターではPFI事業を活用していますが、他の施設等でPFIを活用する意向はあるのでしょうか。

(財産管理課)

杉戸小学校・中学校以外の学校についてでございますが、各学校も老朽化が進んでおりますので、維持管理に必要な補修をしていくこととなります。

2点目の質問についてですが、現在、PFIを活用して施設の更新を行う予定はありません。今後の集約化・複合化等を行う上でPFI事業が有効であれば個別計画の中で検討していきたいと考えております。

## ② 民間認可保育所整備事業 質疑応答

### 質問 1

(委員)

定員が90名となっていますが、平成29年度に開園してどのくらい人が集まったのでしょうか。また、その内訳について教えてください。

(子育て支援課)

お答えします。平成29年4月1日現在で、104名のお子様が入園されています。

内訳につきましましては、0歳児が9名、1歳児が16名、2歳児が18名、3歳児が23名、4歳児が17名、5歳児が21名の合計104名でございます。

### 質問 2

(委員)

補助金についてですが、施設の建設のために民間にお金を支出したものであり、施設そのものは民間の所有ということで宜しいでしょうか。また、第6次実施計画で平成28年度～平成30年度の事業費の予算がついていますが、これはどのような計画なのでしょうか。

(子育て支援課)

補助金は、建物の建設についての補助となっております。

また、今後の計画に予算が計上されておりますが、平成29年度につきましましては、保育園の「運營業務委託料」として、国の補助金をもらいながら施設に交付するものでございます。

### 質問 3

(委員)

町長のコメントの中に「民間保育園誘致は選択肢の1つ」とありますが、現在の待機児童数は0人で宜しいでしょうか。

また、これから人口減少が進んでいくため子どもも減少すると思われませんが、そのような状況の中で、保育園の維持にどれだけ力を入れる必要があるのかについてお聞かせください。

(子育て支援課)

待機児童につきましましては、現段階では0人でございます。

(政策財政課)

町長評価の総合評価についてですが、先ほど公共施設の管理計画について説明させていただきましたが、杉戸町は公立保育園が3園、うち杉戸保育園が新しくでき、また、泉保育園についても新しい施設でございます。高野台保育園は若干古い施設となっております。

このような状況の中で、総合管理計画の趣旨等も踏まえて、これらが建て替えの時期になったら民間の保育園の誘致も選択肢の1つとして考えていくべきではないかということでコメントに入れさせていただきました。

委員のご指摘通りいくつかの保育園は必要がなくなる可能性もあるかと思いますが、地域性の問題、規模の縮小等いろいろな角度から総合的に検討していくべきかと思えます。その中で、民間保育園の誘致も1つの選択肢として考えていきたいと思えます。

### ③ 障がい者就労支援センター運営事業

意見なし

## 平成29年度第2回杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議

(3) 杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法について

意見なし

(4) 杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業評価（外部評価）について

① 杉戸宿開宿400年祭イベントの開催ほか、杉戸宿を活用した賑わいづくりの促進 質疑応答

### 質問1

(委員)

「①杉戸宿400年祭イベントの開催」について、「自立性に疑問がある」となっていますが、どのようなところに疑問があるのか説明していただけないと評価できないのではないのでしょうか。疑問があるからどうするのかということまでご説明願います。

また、「③杉戸宿観光案内機能の導入」についても「自立性に疑問がある」となっていますが、何が疑問なのか、何をしなければならないのかについてよく分かりません。「④プロモーションの推進」についても同じく分かりません。

(商工観光課)

今回の事業については、ほぼ9割が国の地方創生交付金をいただき実施したものでございます。今後、イベントを継続していく上で、それなりの事業費もかかるため、財政面等も含めて「自立性に疑問がある」という評価を致しました。将来性や地域性も検討しながら進めていきたいと思っております。以上でございます。

(政策財政課)

補足させていただきます。

事業評価の「自立性」「将来性」「地域性」「経済性」につきましては、地方創生交付金を申請する際の評価基準となっております。その中で、自立性は「将来的に交付金に頼らず自分たちで事業を運営できるのか」について判断する指標でございます。担当課長が申し上げたとおり、本事業はかなりの補助金をいただき実施したため、「自立性に疑問がある」という評価にしたと思えます。

(委員)

そうすると本年度からは補助がないので町予算のみになるかと思いますが、お金がなくてもイベントを継続する方法についてどのように考えているのか明確にしてください。お金がないで終わらせず、協働により事業を継続していくべきだと考えます。

(商工観光課)

400年のお祭りについては初年度1800万円の予算をかけて実施しましたが、その中で作成した衣装等は次年度以降も使用できると考えております。また、今年度からは町観光協会が主催となり実行委員会を組織し、事業を継続していきたいと考えております。

できるだけ課題をクリアしながらよりよい事業にしていきたいと考えております。以上です。

#### 質問2

(委員)

今年の11月の宿場まつりはどのようなことをするのでしょうか。

(商工観光課)

実際には実委員会で話し合って内容を決めていくこととなります。去年は関口酒造から宝性院までの1.5kmの区間でイベントを実施しましたが、財政に見合った形での規模で実施していきたいと考えています。しかしながら、時代行列等は宿場まつりのメインイベントとなりますので、継続していく予定です。それについてはもう少し長い距離での実施も考えております。

### ① アグリパークゆめすぎと観光・交流拠点機能強化事業 質疑応答

#### 質問1

(委員)

平成31年度までに事業計画素案の作成をするとありますが、具体的にどのようなことか教えてください。

(農業振興課)

お答えします。先ほど申し上げたKPI達成調書を元に、どのようにして来園者・売り上げを伸ばしていくかという計画を立てております。指定管理者のほうでも計画を作成していますが、町の施設なので、客観的に計画を具現化するために検討を進めております。以上です。



**質問2**

(委員)

来園者数のカウント方法について教えてください。

(農業振興課)

来園者数のカウント方法についてですが、

- ・ 1日1,000人来場(駐車場台数×3~4回転)×日数
- ・ 食堂食券数+宴会利用客数
- ・ 直売所レジ通過者数×3
- ・ 産業祭等アグリパークで行われるイベントの来場者数

の合計として約170万人という形で計算しております。

当初計画では、町道の交通量を考慮し、年間21万人を想定しておりましたが、実際にはこのような来場者数となっております。

以上